

R1 後期

問題1 皮膚の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 表皮の色素細胞（メラノサイト）は、皮膚の色素であるメラニンをつくる細胞である。
- ② 表皮には、ランゲルハンス細胞という免疫に関与する細胞が存在する。
- ③ 真皮の繊維成分は、コラーゲンというタンパク質からなる膠原繊維が、その大部分を占める。
- ④ 表皮の角化細胞（ケラチノサイト）は、エラスチンというタンパク質をつくる細胞系列である。

問題2 皮膚付属器官の構造に関する次の記述のうち、誤っているのはどれか。

- ① アポクリン腺は、皮膚表面に汗孔を作って開口している。
- ② 脂腺（皮脂腺）は、毛包に開口して、皮膚や毛にあぶらを与えている。
- ③ 毛の主成分は、ケラチンという硫黄を含むタンパク質である。
- ④ 爪は、毛と違って成長周期というものはなく、絶えず成長を続けている。

問題3 皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 表皮角質層のケラチンは、外力に対して強い抵抗力を持っている。
- ② 体温調節作用を積極的に行うのは、立毛筋と脂腺である。
- ③ 皮脂の分泌は20～25歳で最高となる。
- ④ 経皮吸収には、表皮経路と皮膚付属器官経路がある。

問題4 皮膚疾患に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 男性型脱毛症では、男性ホルモンのテストステロンが脱毛をすすめる。
- ② 単純性疱疹（単純性ヘルペス）は、感冒や発熱したときに口唇やその周囲にできやすい。
- ③ 脂漏性皮膚炎は、フケ症やあぶら性の人に多く、黄色調の紅斑や落屑を伴う。
- ④ 尋常性痤瘡（ニキビ）は、毛包にウィルスが増殖しておこる疾患である。

問題5 皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚の健康に必要な栄養は、体内から血液などによって供給される。
- ② 皮膚の老化は、個人の素因や環境の要因に影響されない。
- ③ あぶら性の皮膚は、毛孔に汚れやほこりがたまりやすく、ニキビがしやすい。
- ④ 保湿剤は、入浴後、水分が残っている間に塗布すると効果的である。

R2 前期

問題1 皮膚の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 表皮は皮膚の一番外側にある。
- ② 表皮内には角化細胞（ケラチノサイト）、色素細胞（メラノサイト）、ランゲルハンス細胞、メルケル細胞の系列がある。
- ③ 表皮の細胞の95%は角化細胞である。
- ④ 表皮の角化細胞は4つの細胞層からなり、最外層は有棘層である。

問題2 皮膚付属器官の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 爪には、成長期、退行期、休止期という成長周期がある。
- ② アポクリン腺は、手掌、足底に多い。
- ③ 毛は皮膚表面に出ている部分を毛幹、皮膚の内部にある部分を毛根という。
- ④ 日本人の頭毛が黒いのは、褐色のエラスチンの量が多いためである。

問題3 皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚は紫外線を吸収し、また散乱させて、身体を保護する。
- ② 皮脂は、皮膚表面に分泌されて、皮膚や毛から水分を蒸発するのを防いでいる。
- ③ 経皮吸収には、表皮経路と付属器官経路がある。
- ④ 皮膚の再生能力は極めて高く、真皮の結合組織が深く損傷されても、まったく瘢痕を残さない。

問題4 皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 成人の皮膚は、加齢にともなって乾燥し、硬くなる。
- ② 健康な皮膚の表面は、弱アルカリ性を示し、pH7.4～8.0の間である。
- ③ 糖尿病の人は、化膿しやすく、細菌や真菌による皮膚疾患にかかりやすい。
- ④ 成人では、男性ホルモンの影響で、前頭部から頭頂部にわたって脱毛する男性型脱毛症となることがある。

問題5 皮膚疾患に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 円形脱毛症の原因は、免疫の異常と考えられ、他人に感染することはない。
- ② 口唇にできる単純性疱疹（単純性ヘルペス）は、真菌による感染症である。
- ③ 青年性扁平疣贅（扁平イボ）は、細菌による感染症である。
- ④ 脂漏性皮膚炎は、ウイルスによる感染症である。

R2 後期

問題1 皮膚の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 色素細胞（メラノサイト）の数は、同一部分であっても白色人種や黒色人種などの人種によって大きく異なる。
- ② 角化細胞（ケラチノサイト）は、約1ヶ月かけて基底細胞から角質細胞に分化する。
- ③ ランゲルハンス細胞は、表皮内に侵入した抗原物質（アレルゲン）を取り込むはたらきがある。
- ④ 真皮は、コラーゲンからできた膠原線維が大部分を占めている。

問題2 皮膚付属器官に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 毛根の下端のフラスコ状に膨らんだ部分を毛幹とよぶ。
- ② 毛のケラチンは、全体として長軸の方向に鎖状に結合しているため、縦に裂けやすい。
- ③ 脂腺の数は、体の部位によって違いがあり、頭毛の生えている部位、額、眉間、下顎にはすくない。
- ④ 爪の成長周期は、成長期、退行期、休止期を繰り返す。

問題3 皮膚の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚には、痛点、触点、温点、冷点が分布している。
- ② 紫外線を浴びると、エラスチンが大量につくられ、皮膚の色が黒くなる。
- ③ 皮脂に含まれる脂肪酸は、一部の細菌や真菌の発育を抑制する。
- ④ 皮膚の表面には、汗と皮脂が混じり合い、乳化した状態の薄い膜がある。

問題4 皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚の状態は、全身の健康状況によって変化する。
- ② 成人では、加齢とともに、皮膚の分泌作用や新陳代謝が低下し、皮膚は乾燥し硬くなる。
- ③ 健康な成人の皮膚の表面はアルカリ性である。
- ④ 脂腺から分泌される皮脂は、毛の光沢としなやかさを保つ役割がある。

問題5 皮膚疾患に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 接触皮膚炎（カブレ）は、種々の化学物質や薬剤などが皮膚に接触して発生する皮膚の炎症である。
- ② 蕁麻疹は、食物や薬によるもののほか、花粉、ダニ、寒冷、温熱、日光などの外的刺激によるものもある。
- ③ ニキビは、毛包が角質の栓で詰まることなどによりでき、炎症へと進むことがある。
- ④ 頭部白癬は、ウィルスによって引き起こされる。

R3 前期

問題1 皮膚の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 表皮は表面より角質層、顆粒層、有棘層、基底層の4つの細胞からなる。
- ② 基底細胞から角質細胞に変化する過程を角化とよぶ。
- ③ 角質層は手掌や足底で薄く、顔面や手足の屈曲部では厚い。
- ④ 色素細胞（メラノサイト）は、皮膚の色素であるメラニンをつくる細胞である。

問題2 皮膚付属器官の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 毛は、ケラチンという硫黄を含むタンパク質の一種からできている。
- ② 毛は、中心から外に向かって順に毛髄質、毛小皮、毛皮質の3層からなっている。
- ③ 毛の生える方向を毛流をいい、皮膚の各部位で規則性がある。
- ④ 毛は、皮膚表面から出ている部分を毛幹、皮膚の内部にある部分を毛根という。

問題3 皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚は、日光にさらされると赤くなり、さらに強い照射を受けると水疱ができる。
- ② 皮膚からは、脂溶性物質より水溶性物質のほうが吸収されやすい。
- ③ 皮膚への化学的刺激に対しては、最初に脂肪膜が、ついで角質層にあるケラチンが防いでいる。
- ④ 皮脂は皮膚や毛を保護し、汗は体温調節に役立っている。

問題4 皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 臓器に異常があると、皮膚にも変化が起きることがある。
- ② ふけ症は、角質層が過剰に剥がれ落ちる現象で、脂性と乾性がある。
- ③ あぶら症の皮膚は、皮脂の分泌量が過剰であり、毛孔や汗孔に汚れがたまりやすい。
- ④ 皮膚の老化は、個人の素因によるもので、環境の影響は受けない。

問題5 皮膚疾患と病原体に関する次の組合せのうち、正しいものはどれか。

- ① 尋常性毛瘡（カミソリカブレ）・・・化膿菌
- ② 伝染性膿痂疹（トビヒ）・・・真菌（カビ）
- ③ 疥癬（ヒゼン）・・・虱
- ④ 円形脱毛症・・・ウィルス

R3 後期

問題1 皮膚の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚は、表面より表皮、真皮、皮下組織の3層からなる。
- ② 表皮最下層の基底細胞が表層に移動し、角質細胞になる。
- ③ 角化細胞（ケラチノサイト）は、メラニンをつくる細胞であり、表皮の細胞の約95%を占める。
- ④ 表皮内には、ランゲルハンス細胞という抗原物質（アレルゲン）を取り込み、リンパ球に抗原情報を提示する細胞がある。

問題2 皮膚付属器官の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 毛母の部分には、色素細胞が多数存在する。
- ② 毛は、成長期、退行期、休止期を繰り返す。
- ③ 爪は、表皮の角質層が変形したもので、その部分はケラチンである。
- ④ 脂腺は、体の部位に関係なく同じ密度で分布している。

問題3 皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 紫外線の照射によって、エラスチンが大量につくられ、皮膚の色が黒くなる。
- ② 膠原線維は、機械的外力に対する保護のはたらきをしている。
- ③ 痛みを感じる点を痛点といい、冷たさを感じる点を温点という。
- ④ 人間の皮膚で体温の調節作用を積極的に行っているのは脂腺と汗腺である。

問題4 皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 思春期になると、女性ホルモンの影響で脂腺が発育して皮脂の分泌が多くなる。
- ② 糖尿病で体の免疫が低下し、皮膚の抵抗力が弱くなると化膿菌や真菌による感染が起こりやすくなる。
- ③ 糖尿病では神経障害により知覚鈍麻になることがある。
- ④ 肝臓に障害が起きて血中に胆汁色素が増加して皮膚に沈殿すると黄疸になる。

問題5 皮膚疾患に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 頭部白癬（シラクモ）、白癬菌による感染症でペットから感染することがある。
- ② 疥癬（ヒゼン）は、虱（しらみ）という昆虫の寄生によって起こる。
- ③ 伝染性膿化疹（トビヒ）は、毛包が角質の栓で詰まったものであり、毛包内に皮脂が貯留し、細菌に感染することによって起こる。
- ④ 尋常性痤瘡（ニキビ）は、膿がほかの部分の皮膚に付いて感染が広がる。

R4 前期

問題1 皮膚の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 皮膚は、表面より真皮、表皮、皮下組織の3つの層からできている。
- ② 角化細胞（ケラチノサイト）は、真皮の細胞の95%を占める。
- ③ 基底細胞は、分裂して皮膚表面に移動し、最終的に角質細胞に変化する。
- ④ 色素細胞（メラノサイト）は、リンパ球に抗原情報を提示する細胞である。

問題2 皮膚付属器官の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 眉毛や鼻毛、耳毛は、高齢になるとその成長期が長くなる。
- ② 健康な成人では、頭毛の85~90%が休止期である。
- ③ 上肢の毛の成長期は、6か月以下である。
- ④ 毛の成長速度は、月経の周期に影響されない。

問題3 皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 紫外線によってエラスチンが大量につくられ、皮膚の色が黒くなる。
- ② 皮膚には、痛点、触点、温点、冷点、が分布している。
- ③ 皮膚表面の脂肪膜は、弱酸性で細菌などの発育を抑制する。
- ④ 皮脂は、皮膚表面に出て、皮膚や毛から水分が蒸発するのを防いでいる。

問題4 皮膚の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚の老化は、個人の素因によるもので、環境の影響は受けない。
- ② 抗しわ療法に、ボツリヌス毒素を用いることがある。
- ③ 肝臓障害により、血中に胆汁色素が増加して皮膚に沈殿すると、皮膚が黄色くなる。
- ④ 糖尿病で体の免疫力が低下し、皮膚の抵抗力が弱くなると、細菌や真菌による感染が起こりやすくなる。

問題5 皮膚疾患に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 接触皮膚炎（カブレ）は、様々な種類の化学物質や薬物などが皮膚に接触して起きる皮膚の炎症である。
- ② アレルギー性接触皮膚炎の原因物質の特定には、パッチテストが有効である。
- ③ 進行性指掌角皮症は、指から手掌にかけての皮膚が乾燥し、角質層が厚くなって亀裂を生じ、進行すると指紋がなくなることもある疾患である。
- ④ 尋常性痤瘡（ニキビ）は、脂腺の多い個所の毛胞にウイルスが増殖して起きる疾患である。

R4 後期

問題1 皮膚の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 表皮は、基底層、有棘層、顆粒層、角質層の4つの層からなる。
- ② 角化細胞（ケラチノサイト）は、表皮内に侵入した抗原物質（アレルギー）を取り込む性質がある。
- ③ ランゲルハンス細胞は、約1ヶ月かけて基底細胞から角質細胞に分化する。
- ④ 色素細胞（メラノサイト）の数は、同一部分で比較すると人種によって大きく異なる。

問題2 皮膚付属器官の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① すべての毛に毛髄質はある。
- ② 毛は、皮膚表面に出ている部分を毛幹、皮膚の内部にある部分を毛根という。
- ③ 毛は、毛母でつくられる。
- ④ 毛は、ケラチンという硫黄を含んだタンパク質でできている。

問題3 皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ヒトでは、皮膚呼吸はほとんど行われない。
- ② 皮膚表面の脂肪膜と角質層のケラチンは、化学的刺激に対する保護の働きをしている。
- ③ 皮膚表面の脂肪膜は、pHは7ぐらいなので、細菌の発育を抑制しない。
- ④ 温度と関係なく精神的な感動によって手掌や足底、腋窩から急激に汗が出ることを精神性発汗という。

問題4 皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 抗しわ療法として、ボツリヌス毒素による筋弛緩作用を利用することがある。
- ② 尋常性痤瘡（ニキビ）、蕁麻疹、湿疹のなかには、便秘により悪化するものもある。
- ③ 男性ホルモンの増加は、脂腺の発育を促し、尋常性痤瘡や脂漏を引き起こす。
- ④ UVAは真皮にまで達し、色素細胞の働きを弱める。

問題5 皮膚疾患に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 脂漏性皮膚炎は、フケ症やあぶら症の人に多い皮膚炎で、紅斑や落屑がみられる。
- ② 手には、足のよう白癬菌による病変は生じない。
- ③ 化粧品によるアレルギー性の接触皮膚炎（カブレ）は、薄めれば発症しはしい。
- ④ 尋常性疣贅は、真菌によってできる。

R5 前期

問題1 皮膚の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 頭の皮膚は厚くて強く、ゴムのようなかたさと弾力を持っている。
- ② 体幹の皮膚は、腹側よりも背側の方が厚い。
- ③ 顔の皮膚は、全体的に厚さが均一である。
- ④ 耳を覆う皮膚の皮下組織は少なく、皮下脂肪はほとんどない。

問題2 皮膚付属器官の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 毛根の下端のフラスコ状に膨らんだ部分を毛幹という。
- ② 脂腺は、手掌や足底に最も多く分布する。
- ③ 汗腺には、エクリン腺とアポクリン腺がある。
- ④ 爪の主な成分は、エラスチンである。

問題3 皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚に冷たい刺激を与えると、立毛筋が収縮して、いわゆる鳥肌反応（立毛筋反射）が起こることがある。
- ② 脂腺の発育は、女性ホルモンの刺激によって行われる。
- ③ 温度と関係なく精神的な感動によって手掌や足底、腋窩から急激に汗が出ることはある。
- ④ 皮膚の表面にある脂肪膜は弱酸性で、細菌の増殖を抑制する。

問題4 皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 肝臓障害によって胆汁色素が皮膚に沈着すると、皮膚は紫色を帯びる。
- ② 更年期の女性では、フケの増加やヒゲの発育、四肢の硬毛の発育がみられることがある。
- ③ 尋常性痤瘡（ニキビ）のなかには、便秘により悪化するものがある。
- ④ UVAは真皮にまで到達し、シワやたるみを招く。

問題5 皮膚疾患と病原体に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① 伝染性軟属腫（ミズイボ）・・・細菌
- ② 伝染性膿痂疹（トビヒ）・・・ヒゼンダニ
- ③ 帯状疱疹・・・・・・・・・・真菌
- ④ 尋常性疣贅・・・・・・・・・・ウイルス

